

令和7年度 生活クラブ（木・土） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① 自身で好きな物を1品でも作れるようになる。
- ② 自己発信ができるようになる。
- ③ コミュニケーション力の向上（相手に伝わる言い方など）。
- ④ 感情のコントロールができるようになる。
- ⑤ 他者のことを考える力を養う。
- ⑥ 先のことを考えて発信する力を養う。
- ⑦ 活動を通して、興味の幅や視野を広げる。

【支援方針】

- ① 自分の気持ちや考えを言えるように環境を整える。
- ② 流れを定着させるように支援する（準備や片付けなど自ら進んでできるように）。
- ③ 言葉の使い方や言い方を学べるように話し合いが必要になる活動を取り入れる。
- ④ 言葉だけで指示をするのではなく、視覚的に理解できるように視覚的ツールを活用する。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	●自分を知るワーク ●お友だちを知るワーク ○ごはんを炊こう～おにぎり ○(土) ピクニック	●活動の流れ、目的を知る。 ●自分のことを掘り下げ、発信する。 ●他児のことを知る。他児に興味を持つ。 ○炊飯やサンドイッチ作り等、軽食を作る。		●慣れない環境で流れが分からない ●集団への参加の難しさ ●知らない他者への発信の難しさ
5月	●お友だちを知るワーク ●コミュニケーションワーク ○たまご料理、サラダ	●他児のことを考える。 ●他児へ向けての伝え方について学ぶ。 ○簡単なたまご料理、サラダが作れるようになる。		※各児童、丁寧にアセスメントし、各児童に合わせた支援を行う。
6月	●グループで制作 ○スープ、味噌汁	●自己発信をしながら、他者の声も受け入れられるようになる。 ●他児と協力して物事を遂行する。 ○味噌汁、簡単なスープが作れるようになる。	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。	
7月	●自分を知るワーク ●コミュニケーションワーク ○たまご料理 ○麺料理	●自己発信をしながら、他者の声も受け入れられるようになる。 ●相手や周囲の立場で、物事を考える視点を持つ。 ○簡単な麺料理、夏に合う麺のアレンジレシピに挑戦する。	【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。	●包丁の使い方について ※切る練習を重ねていけるように活動に盛り込む。
8月	●外出（屋内） ●実験 ○カレー（丼料理）	●考えられる結果を予想、実行、ふりかえりを行う。 ●公共の場で集団で過ごすことを体験する。 ●時間や予算（お金）にも留意して行動計画を立てる。 ○カレー、丼料理が作れるようになる。	【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。	
9月	●お友だちを知るワーク ●コミュニケーションワーク ○野菜を使った料理	●相手の長所に目を向ける視点を持つ。 ○簡単な野菜を使った料理が作れるようになる。	・概念の形成（数、大小、色など）。 ・場に適した行動ができるようになる。	●活動、他児にも慣れて関わりが増える。 ※ポジティブな言葉かけや関わりが増えるようにワークを行う。
10月	●グループで制作 ○麺料理、肉料理	●計画を立て、ゴールから逆算して物事に取り組む。 ●他児と協力して物事を遂行する。 ○簡単な麺、肉料理ができるようになる。	【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。	
11月	●実験 ●外出 ○肉料理、スープ	●考えられる結果を予想、実行、振り返りを行う。 ●公共の場で集団で過ごすことを体験する。 ●時間や予算（お金）にも留意して行動計画を立てる。 ○簡単な肉料理ができるようになる。 ○さまざまなスープ作りに挑戦する。	【人間関係・社会性】 ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	●話し合いを経て決定することに対し、自分の思い通りにいかずに活動参加の意欲が減退する。 ※各自の意見を受け入れつつ、取り組めることや役割を全うする、頑張る経験をする。
12月	●グループ活動 ○魚料理、スープ	●他児と話し合いを通して自己発信と意見をすり合わせる経験をする。 ○簡単な魚料理が作れるようになる。 ○さまざまなスープ作りに挑戦する。		
1月	●自分を知るワーク ●グループ活動 ○リクエスト料理	●なりたい自分について考え、具体的に実行することを考える。 ●他児と話し合いをする中で、自己発信と意見をすり合わせる経験をする。 ○自ら考え、行動する。周りにヘルプも出しながら、最後までやりとげる経験をする。		
2月				
3月	○献立を考えて作ろう	○自身で好きなものを1品作れるようになる。 ○自ら考え、行動する。周りにヘルプも出しながら、最後までやりとげる経験をする。		※自ら考え、行動に移す意識を各自が持てるように、通年で役割や取り組むことを習慣づけて行う。